

第60回

テレワーク時代を賢く生きる ポストコロナの田舎暮らしのススメ(後編その1)

企業の事務所は利便性が高い都心において開設するのが一般的であり、主だった貸ビルエリアはこの数年、低空室率と賃料の上昇トレンドにあった。だがコロナ禍を経て状況は一変。リモートワークの浸透で、オフィスを都心に置く必要がなくなりつつある。

さて前編の続きです。くあります。

が、今回は、具体的に関東地方における地方移住・郊外移住のおすすめの地域を解説していきます。

4・トカイナカ(都会田舎)に住もう!! 移住で狙い目の地方都市や首都圏の衛星都市

都会であるのに田舎暮らしができる、又は暮らしができる、又はその逆で、田舎の地方都市なのにインフラは完全に整備された大都市並である都市が日本にはたくさんあります。つまり、日本、特に本州の太平洋ベルト地帯は、戦後高度経済成長の遺産により、住もうと思えば、どこに住んでも、それほど不便ではないのです。

しかし、一方で、買い物や教育などの生きていくうえで必要なインフラが整備されていない、つまり、コンビニやスーパーに行くのに何十分もかかり、最寄り駅や最寄りICなど存在しない地域も多

中核市などの地方都市がこれにあたると考えています。

4・1 東京都などの郊外の田舎町を狙おう
多摩地区や西湘・横須賀、房総半島でプチ田舎暮らし

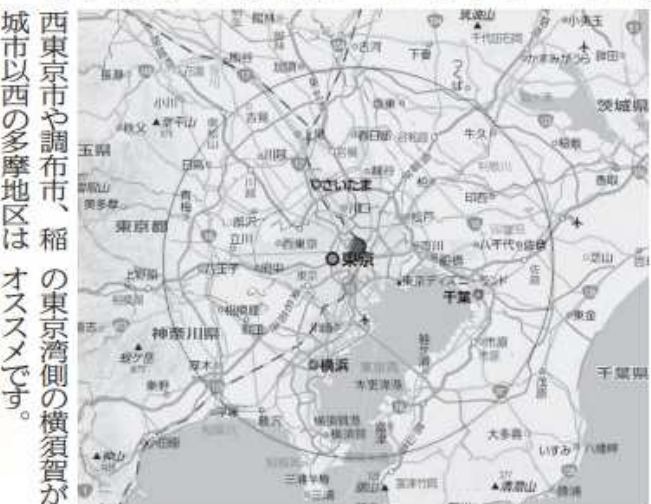
東京都に勤務又は拠点を置いて活動する職業の場合、やはり都心まで1時間くらいでアクセスできる距離感がベストです。これに該当するようなトカイナカの町は、なごそくで意外とたくさんあり、東京を中心に考えると、多摩地区や三浦半島、つくば周辺などが狙い目となります。

ちなみに、関東近郊で田舎暮らし+都市の利便性を考える場合、距離感を理解するに

は、動物の名前や植物の名前のJRの駅を思い浮かべていただくとわかりやすいでしょう。例えば、茨城県の取手(鳥)、牛久(牛)、東京都八王子(ハチ)、埼玉県の熊谷(クマ)

は、右記地図の概ね50km圏に位置します。冗談をさておき、各々おすすめの対象地域の解説をしていきます。

東京都西部多摩地区:



今月の筆者
ふじの行政書士事務所
行政書士
藤野 慶和氏
●プロフィール
行政書士、会社役員。東京都に事務所を開業し、自身は地方在住し、東京に通勤。2020年、20年間放置されていた4LDKの廃墟をDIYでリフォームし居住。ローコストリフォーム、ローコスト移住を推奨している。地方移住仲介も積極的に推奨中

コラムのご感想・ご意見は下記まで!
一般社団法人不動産ビジネス専門家協会
東京都千代田区神田東松下町28番地
小林ビル101 (☎03-3527-1876)
<http://www.fudosan-pro.biz/>

西東京市や調布市、稲城市以西の多摩地区は自然が豊かで、しかも都心へのアクセスが容易なため、田舎暮らしにはおすすです。ただし、地価はそれでも、西に行くと、都心から100kmも離れていませぬ(100km離れると静岡県の熱海や沼津に到達します)。したがって通勤を考えると、首都圏の中では千葉方面、埼玉方面よりも同距離で大自然が堪能でき、特に海の近く、湘南地区の鎌倉などの一定の高級住宅エリアを除き、地価も安めで、平塚や小田原、湯河原などは交通の便もよ